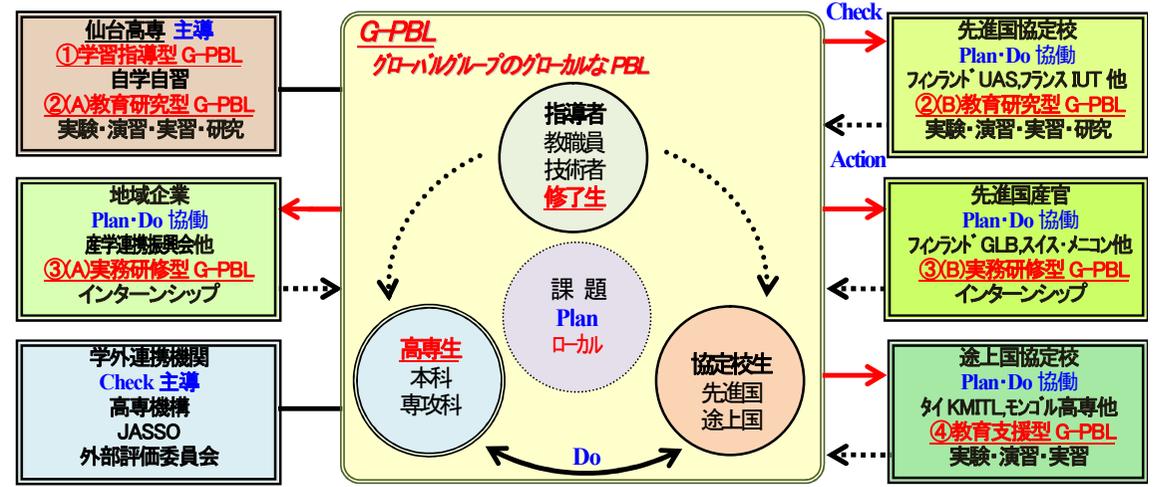


【取組の目的、内容】

「協定校の研究室での専門分野のプロジェクト型研修プログラム」(G-PBL)を**発展**させるとともに、**全学的な課外自主学習**、**地域・海外協定機関での実務研修**及び**海外の高専等での指導経験**へと段階的に**展開**する。さらに修了生を指導者に加え、**全学的にスパイラルアップ**する人材のエコシステムとし、**継続的に未来を協働で創成できる技術者を育成**する。

【実施体制】



※G-PBL①～④の順に、フィードバックさせながら、全体としてスパイラルアップさせることで人材を育成する。

【工程表】

G-PBL	H29年 7月～	10月～	H30年 1月～	4月～	7月～	10月～
①学習指導型 (高専)			準備・試行 (フィンランド他)	準備・試行 (フィンランド他)		準備・実行 (フィンランド他)
②(A)教育研究型 (高専)	準備・試行 (マレーシア)	準備・試行 (モンゴル)		準備・実行 (フィンランド他)	準備・実行 (モンゴル他)	準備・実行 (フィンランド他)
②(B)教育研究型 (先進国協定校)	準備・実行 (フィンランド他)	新規開拓 (ドイツ他)			準備・実行 (フィンランド他)	新規開拓 (イギリス他)
③(A)実務研修型 (地域企業)	新規開拓	新規開拓	新規開拓	準備・試行	新規開拓	準備・実行
③(B)実務研修型 (先進国産官)	新規開拓 (スイス)	新規開拓 (フィンランド)			準備・試行 (スイス)	準備・試行 (フィンランド)
④教育支援型 (途上国協定校)	新規開拓 (モンゴル他)	準備・試行 (モンゴル)			新規開拓 (タイ他)	準備・実行 (モンゴル)

【成果指標】

- 海外教育機関とのMOU締結数：5機関（H28年度）⇒ 7機関（H30年度）
- 海外教育機関との派遣・受入学生数：70名（H23～H28年度平均）⇒ 80名以上（H30年度）



【第4期中期目標期間への展開（見込み）】

- 交流先(G-PBL関連)倍増：現在の5機関から10機関以上（海外高専・企業等を含む）に増やす。
- 派遣・受入学生数倍増：現在の平均70名から平均140名に増やす。
- G-PBLのブロック展開：4つのG-PBLのパッケージ化を図り、他高専との間で共有化を図る。→ 包括MOU締結